

# 伝統に生きる

— あらかわの工芸技術 —



もくはんがすり  
**木版画摺**

まつざき けいざぶろう  
**松崎 啓三郎**

(平成24年度作品)

DVD

カラー・29分

## プロフィール

住所 荒川区町屋3丁目31番16号  
昭和12年(1937年)千葉県勝浦市生まれ  
平成23年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定される

松崎さんは、昭和27年に上京し、台東区の木版画摺師の高木省治氏に弟子入りして技術を修得。4年間の修業の後、現在地で独立し、現在に至る。

木版画は絵師・彫師・摺師による分業制により製作される。摺師である松崎さんは、輪郭線が描かれた版木(墨板)と、色ごとに彫り分けられた何枚もの版木(色板)を用い、何重にも重ね摺りして、多色摺りの版画を摺りあげる。絵具を調合することで様々な色を作り、版木の「見当」(摺りずれを防ぐための目印)に合わせて紙を置き、素早く精密に摺り重ねていく。現在は復刻浮世絵のほか、のし紙、菓子の懸紙、千社札など様々な摺物を製作している。

企画・著作 荒川区教育委員会 制作 株式会社 文化工房

## [ 用具・工具・材料 ]

### 「用具・工具」

断ち包丁、桶、水刷毛、とぎ棒、茶碗、摺り台、  
本桜材の版木（墨板・色板）、バレン、ブラシ（木版画用）

### 「材料」

えちぜんきずきほうしよ  
和紙（越前生漉奉書）、

絵具（墨のほか<sup>べんがら</sup>に単色で赤・黄・藍・弁殻<sup>べんがら</sup>など）  
のり



絵具



作品

## [ 工程 ]

### (1) 大断ち

断ち包丁で和紙を適度な大きさに手断ちする。和紙の収縮を防ぐため、摺る前夜に湿らせておく

### (2) 線摺り

墨板を用いて、輪郭線を摺る



### (3) 色摺り

色板を用いて、薄い色から濃い色へ摺り重ねていく

- ① 版木に絵具を置き、のりを加える
- ② 版木に置いた絵具をブラシで伸ばす
- ③ 版木に和紙のをせ、バレンでこする
- ④ 摺った和紙は、適度な湿気を含ませたボール紙や新聞紙に挟んで、次の色を摺り重ねるまで置いておく

以上の工程を何度も繰り返して、1枚の作品を仕上げる

今回の作品、復刻浮世絵、歌川広重の「名所江戸百景 箕輪金杉三河しま」の場合は、計13回の重ね摺りを行い、その中で「<sup>からず</sup>ぼかし」  
「空摺り」といった技法を施している。



「伝統に生きる」のDVDは、荒川区の図書館で貸し出しています。  
また、荒川ふるさと文化館1階郷土学習室で視聴できますので、ご利用下さい。

### 問い合わせ先

#### ■ 内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

● 荒川区ホームページ内「あらかわまなびプラザ」  
<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/arapura/index.html>

#### ■ DVD 貸し出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221 町屋図書館・・・3892-9821  
荒川図書館・・・3891-4349 日暮里図書館・・・3803-1645  
尾久図書館・・・3800-5821  
汐入図書サービスステーション・・・3807-8130  
冠新道図書サービスステーション・・・3800-3321

● 荒川区立図書館ホームページ <http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>